

市民生活部環境政策課

1 米子市環境審議会の開催

米子市の環境の保全及び創造に関して基本的な事項を調査審議するために、「米子市環境基本条例」第19条に基づき審議会を開催した。

	開催日	審議事項
第1回	平成31年2月7日	米子市環境基本計画（改定）の進捗状況について

2 米子市環境マネジメントシステムの運用

米子市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定

米子市では、省エネルギー、省資源等の環境保全活動を実行することで環境への負荷を低減するとともに、市民及び事業者の自主的な取組を促進する目的で平成28年3月まで「環境にやさしい米子市役所率先実行計画」により、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく取り組みを進めてきた。

平成28年3月の計画期間の終了を受け、平成28年7月に「米子市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定した。

計画期間 平成28年度～32年度

対象範囲 市のすべての機関が実施する事務事業

削減目標 平成26年度を基準年として、平成32年度の二酸化炭素排出量を5%以上削減

3 ラムサール条約登録湿地「中海」の環境保全

平成17年11月の中海のラムサール条約登録以降、官民一体となった環境保全活動を実施している。

(1) 中海アダプトプログラムへの支援

アダプトプログラムとは、市民団体や個人が公共のスペースを分担して、自分のこどものように面倒をみるという、市民と自治体が協働して進める、新しいまちの美化活動である。本市には、平成31年3月現在66団体の登録があり、ごみ袋の支給、回収ごみの処分、広報活動の支援を行った。

(2) ラムサール条約登録湿地 中海・宍道湖一斉清掃の実施

中海・宍道湖がラムサール条約に登録されたことを記念し、中海等のすばらしさや大切さを再認識してもらうために中海・宍道湖沿岸5市で連携し一斉清掃活動を実施した。

実施年月日 平成30年6月10日（日）

実施場所 湊山公園周辺護岸

参加者人数 1,264人

ごみ収集量 約1.9トン

(3) 中海体験クルージング・中海環境フェア in よなごの実施

NPO法人中海再生プロジェクト、鳥取県、米子市の共催で、市民向け環境啓発イベントを実施した。

実施年月日 平成30年8月18日（土）

実施場所 米子港・米子食品会館

参加者人数 425人

4 公害防止対策

(1) 大気汚染

ア PM_{2.5}などの大気汚染物質に関する注意喚起

環境基準物質などの測定を実施している鳥取県から提供される注意情報などを、市ホームページに掲載するとともに、関係部局等を通じ、市民への周知を図った。

注意喚起回数 14回

イ 野外における廃棄物焼却に関する指導

鳥取県等と連携し、広報や指導を行った。

指導回数 32回

ウ 鳥取県等と連携し、事業場立ち入り指導を行った。

指導件数 3件

(2) 水質汚濁

ア 公共用水域の水質監視

水質状況を把握するための調査を実施した。

(ア) 河川

調査河川 加茂川、法勝寺川、小松谷川、大沢川、野本川、精進川、妻木川、塩川 以上8河川

調査箇所数 11地点

総検体数 43検体

(イ) 中海

調査地点 浚渫窪地、ポンプ場沖、湊山公園沖、米子湾中央部、錦海団地沖

調査回数 4回（6月、8月、11月、1月）

イ 油類等流出事故対応

事故発生時、関係機関へ速やかに情報を伝達するとともに、オイルフェンス等により下流への流出及び拡散を防ぎ、発生源の調査を行った。

対応件数 15件

ウ 事業場排水指導

鳥取県等と連携し、事業場排水の改善について指導した。

指導件数 4件

(3) 騒音

ア 騒音測定

(ア) 環境騒音測定 7地点

(イ) 自動車騒音常時監視業務

騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、環境基準適合状況を面的に評価するために実施した。

騒音測定実施区間 7区間

面的評価区間数 114区間

面的評価区間延長 155.6km

(ウ) 航空騒音測定 1地点（通年）

(エ) 苦情等に伴う測定 0地点 延べ 0回

イ 騒音規制法に基づく届出受理

(ア) 特定施設に関するもの（設置届、変更届等を含む。）

受理数 7件

(イ) 特定建設作業に関するもの

受理数 16件

ウ 県公害防止条例に基づく届出受理

騒音関係特定施設に関するもの（設置届、変更届等を含む。）

受理数 2件

エ 事業場立ち入り指導 9件

(4) 振動

ア 振動測定

苦情に伴う測定 0地点 延べ 0回

イ 振動規制法に基づく届出受理

(ア) 特定施設に関するもの（設置届、変更届等を含む。）

受理数 5件

(イ) 特定建設作業に関するもの

受理数 7件

ウ 事業場立ち入り指導 2件

(5) 悪臭

ア 臭気測定回数（事業場） 3回

イ 事業場立ち入り指導 6件

5 公害等苦情処理

(1) 苦情相談の対応状況

苦情の種類	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	廃棄物投棄	※その他	合計
対応件数 (件)	37	25	0	20	3	0	49	4	116	254

※その他・・・土地等の適正管理、害虫・動物に関する苦情等

6 ヌカカ被害軽減対策

ヌカカによる被害の軽減を目的として、米子工業高等専門学校や鳥取大学などの研究機関と連携し、発生状況や生態の調査・研究、発生源対策の検討、被害情報の収集を行うとともに、得られた有用な情報を公開することにより注意喚起を図った。

(1) ヌカカに関する各種調査の実施

ア 発生状況調査

発生の時期や時間帯、被害の多い地域の状況を把握するため、捕獲調査を行った。

イ 発生源調査

発生源対策の検討を目的として、幼虫の生息状況を調査した。

ウ 遺伝子情報の解析

被害を与える種の特定、幼虫の分布状況の把握のため、幼虫の遺伝学的同定を行った。

エ 被害状況調査

ヌカカ被害による医療機関の受診者数の調査及びウェブサイトによる被害情報の収集・公開を行った。

(2) 被害軽減のための情報提供

市ホームページ、市報などを通じ、各種調査結果などの情報を随時、公開して注意を喚起することで、被害軽減を図った。

(3) 発生源対策の検討

各種調査研究の結果を踏まえ、幼虫を駆除し、成虫の発生を抑制するための発生土壌対策を検討した。

7 分析業務

(1) 水質試験

ア 河川 43 検体

イ 水鳥公園 24 検体

ウ 他課からの依頼試験の実施

(ア) 下水処理施設関係 1,079 検体

(イ) 王子製紙関係 7 検体

(ウ) 崎津承水路関係 72 検体

(エ) 樋口川・加茂新川関係 20 検体

(2) 食品放射性物質検査 0 検体

(3) その他依頼試験 5 検体

8 環境放射線モニタリング関係

鳥取県が設置した島根原発UPZ30km圏内の放射線監視局の測定データ等を、市民課ホールモニター画面及び米子市ホームページにより住民への情報提供を行った。

9 主な環境保全事業

(1) 環境月間行事（6月1日～6月30日）

CO₂削減/ライトダウンキャンペーン2018

地球温暖化防止のためにライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう広く呼びかけを行う「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」を実施した。

実施日 6月21日（木）午後8時から午後10時

7月7日（土）午後8時から午後10時

実施場所 山陰歴史館

(2) 米子市環境美化活動奨励

環境美化活動の高揚を図るため、地域の環境美化に功労のあった2団体及び個人9名に対し感謝状を贈呈した。

期日・場所 11月6日（火） 米子市役所401会議室

(3) 環境美化促進月間

ア 期間 9月1日～10月31日

イ 清掃活動

加茂川一斉清掃 実施日 10月28日(日)

(4) こどもエコクラブ

次世代を担う子どもたちが、地域において、主体的に環境学習及び環境保全活動に取り組み、将来にわたる環境の保全への高い意識を醸成することを支援するため、環境省が全国に「こどもエコクラブ」を発足させた。

(H23年度以降、こどもエコクラブ事業は財団法人日本環境協会が運営)

市内参加クラブ 3クラブ(地域参加のクラブ1、公募制クラブ2)

ア 貝殻掘り

実施日 6月16日(土)

実施場所 米子水鳥公園

参加人数 30人

イ 中海体験クルージング・中海環境フェア in よなご

実施日 8月18日(土)

実施場所 米子港・米子食品会館

参加人数 40人

ウ その他の活動(公募制クラブのみ)

中海生物観察・生態系学習、食べもの体験(中海七珍)、先端技術を用いた生物学習 など

(5) なかうみ環境学習事業

市内の小学校が米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンターで行う中海環境学習に係る交通費を負担することで、中海についての学習機会の確保を図った。

実施校数 18校

参加児童数 1,094人

10 環境美化推進団体の育成

加茂川を美しくする運動連絡協議会

ア 構成 29人(団体代表者)

イ 会長 鹿島 恒勇

ウ 主な活動内容

(ア) 加茂川一斉清掃(春秋 年2回)

(イ) 花壇整備 つつじ補植

11 地球温暖化防止対策事業

(1) 住宅用太陽光発電導入推進事業

自然エネルギーの利用を促進するため、住宅に太陽光発電システムを導入する者に対して、太陽電池出力1kw当たり2.4万円(1件当たりの限度額9.6万円)を助成した。

補助対象件数(件)	補助金額(円)	太陽電池最大出力数(kw)	CO2削減量(t-CO2)
115	10,574,000	608	402

(2) 家庭用燃料電池導入推進事業

分散型のエネルギー供給構造の構築を図るため、家庭用燃料電池を導入する者に対して、導入に要する経費の10分の1に相当する額（1件当たりの限度額18万円）を助成した。

補助対象件数（件）	補助金額（円）
2	201,000

(3) 住宅用太陽熱利用機器導入推進事業

自然エネルギーの利用を促進するため、住宅に家庭用太陽熱利用機器を導入する者に対して、導入に要する経費の10分の1に相当する額（1件当たりの限度額2万円）を助成した。

補助対象件数（件）	補助金額（円）
2	40,000

(4) 改正省エネ法

平成22年4月から改正省エネ法が施行され、従来の工場・事業場単位から事業者単位規制となり、市有施設の1年間のエネルギー使用量（原油換算値）が、指定基準の1,500k1以上となり、国から特定事業者の認定を受けた。

ア 平成29年度エネルギー使用量（原油換算値） 米子市（市長部局） 4,060k1
米子市（教育委員会部局） 2,728k1
米子市（水道局） 2,271k1

イ 平成30年7月 定期報告書及び中長期計画書を中国経済産業局、中国地方整備局、中国四国農政局、中国四国厚生局、中国四国地方環境事務所、文部科学省へそれぞれ提出した。

(5) 鳥取県地球温暖化対策条例

鳥取県地球温暖化対策条例が平成22年4月から施行され、改正省エネ法の適用となった特定事業者が該当となり、温室効果ガス排出量の目標、目標達成のための取組を含む「取組計画（3年分）」の提出及び計画達成状況の報告が義務付けられた。

ア 平成29年度 温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算） 米子市（市長部局） 6,979t

(ア) 電気排出係数は、中国電力調整後の0.694t-CO₂/千kwh（平成29年度）及びローカルエネルギー調整後の0.411t-CO₂/千kwh（平成29年度）を使用。

(イ) 平成30年度目標の温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）米子市（市長部局） 11,524t

イ 平成30年7月 事業者達成状況報告書を鳥取県へ提出した。

(6) 電気自動車・急速充電器整備事業

ア 電気自動車の導入

地球温暖化防止対策に係る電気自動車の普及啓発及び中海圏域の観光振興を目的に、電気自動車を3台導入し、うちの2台を平日は公用車、休日はレンタカーとして活用した。レンタカー事業は平成28年9月末で終了した。

イ 普通充電器の設置

米子市役所とクリーンセンター内に普通充電器を設置し、活用している。

ウ 急速充電器の設置

米子市役所第2庁舎と米子市観光センターに急速充電器を設置し、活用している。

1.2 米子水鳥公園の施設管理運營業務

米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンターの施設管理については、平成18年度から施設を適切に管理するため指定管理者制度を導入している。

市民と自然とのふれあいの場及び市民の環境学習の場の提供を目的として平成7年10月22日から本施設を供用開始。運営を委託している中海水鳥国際交流基金財団は、平成25年4月1日に公益財団法人に移行し、ひきつづき利用者の応接に関する業務を行うとともに、財団の本来業務の普及啓発事業の一つである一般市民を対象とした自然観察会や自然教室、夏休みを利用した子ども講座などの各種事業を実施した。

(1) 米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター施設管理委託先

ア 指定管理者 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団

イ 指定管理料 41,809,000円

(ネイチャーセンター入館者実績)

(人)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人 数	1,181	1,525	1,322	845	1,021	1,298
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
2,049	2,656	1,941	2,618	2,065	1,567	20,088

(2) 米子水鳥公園内の水質検査を実施した。

ア 調査項目 全窒素、溶存酸素等6項目

イ 調査回数 年3回

ウ 調査箇所 つばさ池ほか/3地点

1.3 米子市市有施設の屋根貸しによる太陽光発電普及事業

自然エネルギーの利用促進、民間活力をいかした公共施設への太陽光発電設備の効率的な整備、災害等の停電時における非常用電源としての活用及び環境やエネルギーに対する市民意識の向上を目的として、米子市市有施設の屋根貸しによる太陽光発電普及事業を平成25年度（第1回）及び平成27年度（第2回）と実施しており、8施設で稼働している。

事業者及び施設

中海テレビ放送(株) 車尾小学校、加茂中学校、大高公民館、湊山中学校

ミヨシ産業(株) 東山中学校

東洋ソーラー(株) 尚徳中学校、市立図書館

(株)虎亀電工 福生西小学校

1.4 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用助成事業

飼い主のいない猫の増加を抑えるため、飼い主のいない猫に不妊去勢手術をうけさせる者に対して、手術費用の2分の1に相当する額（1匹当たりの限度額1万円）を助成した。

補助対象件数（件）	補助金額（円）
86	629,600

15 犬の登録及び狂犬病予防注射事業

狂犬病予防法に基づく犬の登録及び狂犬病予防注射済票の交付を行った。また、鳥取県獣医師会の協力を得て市内34会場で集合注射を実施した。

新規登録頭数	登録抹消 (死亡等) 頭数	総登録頭数	集合注射頭数 (予防注射済票 交付頭数)	個別注射頭数 (予防注射済票 交付頭数)	総予防注射済票 交付頭数
385頭	475頭	6,135頭	707頭	3,505頭	4,212頭

16 第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取

「山の日」記念全国大会は、国民の祝日「山の日」の「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という意義への理解を深め、山の持つ多くの魅力を内外に発信し、地域の山々に親しむ機会を創出するために開催している。第3回大会の開催地として鳥取県が選ばれ、本市では、里の恵み感謝祭及びエクスカージョン（城山ミニ登山、城下町観光）などを実施した。

(1) 里の恵み感謝祭

実施内容 大山を中心とする山から里にかけての産品や文化芸能に親しむことができる事業

実施年月日 平成30年8月11日（土）

実施場所 米子公会堂前広場～える・もーる

参加者人数 約2,300人

(2) エクスカージョン（城山ミニ登山、城下町観光）

実施内容 ライトアップされた城山登山や、米子城下町の地蔵巡り及び加茂川遊覧船に乗船し、中海から大山と城山の眺望を楽しむ観光体験

実施年月日 平成30年8月11日（土）

実施場所 米子城跡、旧加茂川周辺

参加者人数 約220人